



ダイワコーポ

管理部 加藤 楓氏

沖縄県の高校生のインターンシップ（就業体験）受け入れと採用に力を入れているダイワコーポレーション（曾根和光社長、東京都品川区）。2017年度のインターンシップ・採用活動では、17年4月に新卒で入社した、管理部総務人事

課の加藤楓氏（23）が活躍した。今年度のインターンシップは11月7、8の両日に行われ、沖縄の高校2年生4人と教諭1人が来社。加藤氏は、会社概要とインターンシップの目的の講義を担当した。

高校生にもっと教えたい

「資料作りから自分で手掛けた。説明をするのは緊張したが、高校生は素直で、話をしていると『もっと教えてあげたい』という気持ちになる。アンケートでも『絶対にこの会社に入りたい』という回答があり、やりがいを感じた」

採用活動は毎年4月、沖縄での高校回りから始まる。管理部のメンバーが月1回現地に入り、進路指導教諭に自社をアピールする。加藤氏も8月、先輩社員に同行して学校を訪れた。

「先輩の女性社員が、先生を相手に自社のことを話す姿を見て、『すごくカッコいい』と思った。先輩の同期の女性社員が、現場でフォークリフトに乗って活躍している話をしたとこ

就業体験受け入れで活躍

ろ、聞いていた女子生徒がとでも関心を示し、当社への内定が決まった」

12月には沖縄で18年4月採用予定者の内定式も開催。曾根社長（49）らと共に、加藤氏も出席した。

「沖縄の高卒者は男性4人、女性2人の採用が内定した。インターンシップや学校訪問に参加できて、本当に良かった」

高校3年の時、「ぎふ清流国体」に軟式テニス選手として出場し、予選を含め11試合を勝ち抜いて見事優勝した経歴の持ち主。

曾根氏も「アスリートならではの思いやりがあり、とても面倒見がいい。来年度は更なる活躍をしてくれるだろう」と期待を込める。

（吉田英行）